

横須賀市地域密着型サービス事業所

# 開設希望者募集の手引き

令和3年（2021年）3月26日

横須賀市福祉部介護保険課

# 目 次

1	募集の趣旨	1
2	募集する地域密着型サービス事業所の種類、数、条件など	2
3	補助額	3
4	応募について	5
5	応募方法	7
6	選定方法等	8
7	整備に伴う地元説明の実施	10
8	建設工事、消耗品・備品等の購入について	10
9	スケジュール（予定）	10
10	地域密着型サービス事業者の指定	11
11	不動産物件の情報提供	11
12	国有地の利用	12
13	その他の留意事項	12
14	宅建協会・不動産協会との手続きの流れ等	13
15	提出書類一覧	14

## 1 募集の趣旨

第8期介護保険事業計画（令和3～5年度）に基づき、地域密着型サービス事業所の整備を行う事業者を募集します。

事業所の整備にあたっては、補助金を活用することができますので、別紙様式に記入のうえ、必要書類を添えてご応募ください。

当該補助金は、**令和4年度に整備を行う事業者が対象**です。補助金の交付にあたっては、選定審査会での審査、介護保険運営協議会での意見聴取を経て決定します。

ただし、認知症対応型共同生活介護事業所（グループホーム）については、計画において整備数の上限が決められているため、事業所の整備に補助金を活用しない場合でも、応募し、選定されないと介護保険法に基づく指定を受けることができませんので、ご承知おきください。

なお、認知症対応型共同生活介護事業所（グループホーム）を除き、事業所の整備に補助金を活用しない場合は、今回の募集手続きを経ずに、介護保険法に基づく指定申請を行ってください。この場合、圏域の指定はありません。

（P11「10 地域密着型サービス事業者の指定」参照）

## 2 募集する地域密着型サービス事業所の種類、数、条件など

### (1) 小規模多機能型居宅介護事業所（介護予防小規模多機能型居宅介護を含む）か 看護小規模多機能型居宅介護事業所

①募集事業所数：3事業所（追浜圏域1事業所、久里浜圏域1事業所、西圏域1事業所）

②圏域の指定：あり（※）

- ・事業所を設置できる圏域（追浜、久里浜、西）
- ・サービス提供を希望する圏域（上記の圏域を含む圏域）

※指定圏域以外での事業所設置も可能です。ただし、選定審査会において実施する審査の採点基準は、指定圏域での応募に多く採点配分させていただきます。

③その他：単独、もしくは他事業所との併設も可能です。

### (2) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所

①募集事業所数：1事業所

②圏域の指定：なし

③その他：単独、もしくは他事業所との併設も可能です。

### (3) 認知症対応型共同生活介護事業所（介護予防認知症対応型共同生活介護を含む）

①募集事業所数：4事業所（各18人定員）

②圏域の指定：なし

③その他：単独、もしくは他事業所との併設も可能です。

\*認知症対応型共同生活介護事業所は、計画において整備数が決められているため、事業所の整備に補助金を活用しない場合も応募し、選定される必要があります。

上記(1)(2)(3)の整備について以下、ABCが対象です。

- A 創設 [新たに事業所を建設]
- B 改修 [既存建物を上記(1)(2)(3)用に行う屋内改修工事]
- C 転換 [既存事業所を上記(1)(2)(3)に用途変更]

### 3 補助額

◆ 補助単価は、令和2年度の金額を示したものです。

(1) 補助金の財源は、県補助金「地域医療介護総合確保基金(介護分)事業費補助金」です。

市を経由して県の定める補助単価を上限に、選定された事業者へ交付します。

(2) 交付を受ける時期は、令和4年度であるため、県の予算の状況により、額の変更(増減)・廃止になる可能性があります。

また、選定後の県への補助申請手続きに際し、補助金交付決定が受けられない場合は、補助金を交付することはできませんので、ご承知おきください。

#### ① 建設(改修)費に対する補助

令和3年3月現在

対象事業所	1事業所当たりの補助単価(上限)
	下段は空き家を活用した改修整備の場合
小規模多機能型居宅介護事業所	3,360万円
看護小規模多機能型居宅介護事業所	891万円
定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	594万円
認知症対応型共同生活介護事業所	3,360万円
	891万円

上記いずれかの事業所同士での併設の場合、1事業所あたりの補助単価が加算されます。

小規模多機能型居宅介護事業所と認知症対応型共同生活介護事業所を併設する場合、補助単価 $3,360万円 \times 1.05 \times 2$ 事業所 = 7,056万円となります。

#### 【対象経費等】

- 1) 事業所の建設費(改修費を含む)が対象です。
- 2) 補助額は、補助単価と補助対象となる経費の実支出額とを比較して少ない方の額となります。
- 3) 用地買収費、造成費、外構工事費、職員の宿舍・車庫・倉庫の建設費、その他整備に関する事業として適当と認められない費用については補助対象となりません。
- 4) 「空き家」とは、「空家等対策の推進に関する特別措置法(平成26年11月27日法律第127号)」第2条で規定されているとおり、居住その他の使用がなされていないことが常態であるものをさします。

「居住その他使用がなされていない」ことが「常態である」とは、概ね年間を通して建築物等の使用実績がないことが1つの目安となります。(1年間使用されていないこと)

②施設開設準備経費等に対する補助

平成3年3月現在

対 象 事 業 所	補助単価 (上限)
小規模多機能型居宅介護事業所 看護小規模多機能型居宅介護事業所	宿泊定員1人当たり 83万9千円
定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	1事業所当たり 1,400万円
認知症対応型共同生活介護事業所	定員1人当たり 83万9千円

【対象経費等】

1) 開設前の6ヶ月間に係る以下の経費が対象です。

- ・ 開設前の職員人件費
- ・ 開設時に必要な備品、消耗品等の購入経費
- ・ 職員の募集経費 (広報誌発行、説明会開催等の活動費等)
- ・ 利用者の募集活動経費 (パンフレット、ホームページ開設等のPR費用等)
- ・ 開設準備室運営経費
- ・ その他事業の立ち上げに必要な経費

\* 開設時に必要な備品購入経費を補助対象とする場合には、介護職員が使用することにより、直接的に身体的負担の軽減を図ることができ、労働環境の改善が見込まれるア～クのいずれかの介護福祉機器も併せて購入することが条件です。

ア 移動・昇降用リフト

イ 自動車用車いすリフト

ウ エアーマット

エ 特殊浴槽 (リフトと共に稼動するもので、側面が開閉可能なもの)

オ ストレッチャー (入浴用に使用するもの以外は昇降機能が付いているもの)

カ 自動排泄処理機

キ 車いす体重計

ク 腰痛予防に有効な福祉機器 (電動ベッド、高機能の車いす、スライディングシ

ート、スライディングボード、スタンディングマシーン等)

2) 補助額は、補助単価と補助対象となる経費の実支出額とを比較して少ない方の額となります。

③定期借地権設定のための一時金に対する補助

平成3年3月現在

対 象 事 業 所	配分基準
小規模多機能型居宅介護事業所 看護小規模多機能型居宅介護事業所	整備する用地に係る国税局長が定める路線価(※)の1/2  ※路線価が定められていない地域においては、固定資産税評価額に国税局長が定める倍率を乗じた額等、都道府県知事が定める合理的な方法による額
定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	
認知症対応型共同生活介護事業所	

【対象経費等】

定期借地権設定に際して授受される一時金であって、借地代の前払いの性格を有するもの

4 応募について

(1)応募対象者

- ①対象事業所の運営を希望する法人
- ②土地所有者（対象事業所を整備し、運営法人に賃貸）

上記①②における法人役員等の欠格要件
ア 介護保険法第78条の2第4項各号・同条第6項第1号から第3号の4及び第115条の12第2項各号・同条第4項各号に該当しないこと。
イ 事業を行う法人が暴力団(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に規定する暴力団)に該当しないこと。また、法人の代表者・役員のうち暴力団員(同法律第2条第6号に規定する暴力団員)に該当する者がいないこと。

【参考】令和元年途中から土地所有者も補助対象に追加(表の○×は県補助対象)

	運営事業者		土地所有者 (整備後に事業所を賃貸)	
	～R1	R1～	～R1	R1～
創設	○	○	×	○
増築	○	○	×	○
増改築	○	○	×	○
改修	○	○	×	○

## (2)応募要件

以下の①から⑤の**すべて**に該当しなければなりません。

①補助金の交付決定（令和4年8月見込）後に着工し、令和5年3月31日までに工事が完了する計画

②募集条件に合致する計画

③事業予定地を市街化調整区域に設定することはできません。

ただし、市街化調整区域であっても、地区計画の定めにより建築が可能な場合は可とします。

\*横須賀市内の市街化調整区域で地区計画が定められているものは、「湘南国際村地区地区計画」のみです。

④長期的に適正で安定した事業運営が可能な計画

⑤関係部署と調整を行い、介護保険法のほか、都市計画法、建築基準法、消防法等の関係法令を遵守した事業計画にしてください。特に、以下の点に注意してください。

### ・既存の建物を利用する場合

建物の構造など建築基準法等により、建築用途の変更ができない場合があるため、必要に応じて資格を有する建築士事務所に依頼するなど、あらかじめ建物調査や建築基準法上の問題点の整理を行うなど留意してください。なお、建築基準法令について、建築士事務所のほか、本市都市部建築指導課においても、一般的な相談を行っております。

### ・事業所の人員、設備、運営等の基準

「指定地域密着型サービスの事業の人員等に関する基準等を定める条例」（平成30年横須賀市条例第30号）・「指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員等に関する基準等を定める条例」（平成30年横須賀市条例第31号）を遵守した計画である必要があるので、本市福祉部指導監査課へ必ず確認してください。

### ・消防用スプリンクラー設備の設置

消防法令等による設置義務については、管轄となる消防署予防係へ必ず確認してください。

## (3)応募にあたり市からの要望

以下について、本市の審議会から意見がありましたので、前向きにご検討ください。

- ・協力医療機関は、できる限り市内の医療機関をご検討ください。

## 5 応募方法

### (1) 提出書類

P14・15の一覧表に定められた書類を下記の方法で調製してください。

- ① A4サイズのフラットファイル（紙ファイル）に綴じ、表紙・背表紙に「令和3年度（地域密着型サービス事業の種類）の応募申請書・（予定）事業所名・法人名」と記載してください。

【例】 『令和3年度 小規模多機能型居宅介護事業所の応募申請書（仮称）〇〇〇 △△会』

- ② 書類は、原則としてA4版とします。図面等については、A3版に縮小し、A4版サイズに折って綴じてください。
- ③ 各書類には、P14・15の一覧表の書類番号を表記したインデックスをつけてください。インデックスは、書類の1枚目に直接つけるのではなく、白紙につけ、各書類の先頭に綴じてください。

### 【備考】

- 1) 応募1サービスにつき1部提出してください。認知症対応型共同生活介護事業所と小規模多機能型居宅介護事業所（または看護小規模多機能型居宅介護事業所）に応募する場合は、それぞれ1部提出となります。
- 2) 提出された書類等は返却いたしませんので、ご了承ください。
- 3) 書類等の作成費用は、全額事業者負担となります。
- 4) 提出書類の様式（データ）は、横須賀市のホームページに掲載しますので、ダウンロードしてご利用ください。

〔 <http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/3050/sisetuseibi.html>  
横須賀市>健康・福祉・教育>年金・保険>高齢者福祉・介護保険>施設整備

### (2) 提出期限

**令和3年9月30日（木） 午後5時まで**

### (3) 提出方法

来庁日時を電話で予約したうえで、介護保険課施設整備係（横須賀市役所分館2階）に持参により1部提出してください。

## 【備 考】

- 1) 提出期限以降は提出できません。ただし、必要に応じて、書類の補正・追加を求めることがあります。
- 2) 書類の追加や修正が生じる場合がありますので、提出期限直前は避け、余裕をもって提出していただきますようお願いします。
- 3) 提出していただいた図書等は、情報公開条例第2条第2項の規定する公文書として公開請求の対象となります。

## 6 選定方法等

### (1) 審査・決定

本市の福祉部長を委員長とし、関係課長をメンバーとする選定審査会で提出書類などをもとに、介護サービスごとの選定審査基準表の審査項目により採点方式で審査し、順位付けを行い、決定します。

- ① 応募者数が募集事業者数以下の場合は、審査の結果、各介護サービスの選定審査基準表に定められた条件（足切点）を上回れば、決定となります。
- ② 小規模多機能型居宅介護事業所（以下：小多機）または看護小規模多機能型居宅介護事業所（以下：看多機）に応募する場合の審査は、圏域ごとに審査を行い、決定します。
- ③ 認知症対応型共同生活介護事業所（以下：グループホーム）に応募する場合の審査は、以下のとおりとします。
  - ア 小多機または看多機併設のグループホームの応募がある場合は、小多機または看多機の審査を行い、選定されれば、グループホームも選定となります。
  - イ アの結果、残りのグループホーム応募枠をグループホーム単独応募同士で審査を行い、決定します。

《グループホームと小規模多機能の選定方法の具体例》

[例]グループホームと小規模多機能のセットと小規模多機能単独、グループホーム単独の応募がある場合(募集数:小多機3、グループホーム4)

A法人	B法人	C法人	D法人							
小規模50点	小規模65点	小規模45点	小規模55点							
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">GH 48点</td> <td style="width: 50%;">小規模 50点</td> </tr> </table>	GH 48点	小規模 50点	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">GH 20点</td> <td style="width: 50%;">小規模 65点</td> </tr> </table>	GH 20点	小規模 65点	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">GH 60点</td> <td style="width: 50%;">小規模 45点</td> </tr> </table>	GH 60点	小規模 45点	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 100%;">小規模 55点</td> </tr> </table>	小規模 55点
GH 48点	小規模 50点									
GH 20点	小規模 65点									
GH 60点	小規模 45点									
小規模 55点										
(GH20点は足切り点以下)										
E法人	F法人	G法人	H法人							
小規模60点	GH60点	GH55点	GH50点							
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">GH 52点</td> <td style="width: 50%;">小規模 60点</td> </tr> </table>	GH 52点	小規模 60点	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 100%;">GH 60点</td> </tr> </table>	GH 60点	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 100%;">GH 55点</td> </tr> </table>	GH 55点	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 100%;">GH 50点</td> </tr> </table>	GH 50点		
GH 52点	小規模 60点									
GH 60点										
GH 55点										
GH 50点										

【採点結果】

小多機 ① B法人65点 ② E法人60点 ③ D法人55点 ④ A法人50点 ⑤ C法人45点  
 GH単独① F法人60点 ② G法人55点 ③ H法人50点

1 小多機の採点が高い法人から選定(小多機は3事業所募集)

① B法人65点 ② E法人60点 ③ D法人55点 が選定となるが、1位のB法人は、GHが足切り点以下のため、セットである小多機も選定外となります。

よって、時点のA法人が繰り上がり、E法人、D法人、A法人が選定となります。

2 グループホームの選定(グループホームは4事業所募集)

(1) セットで応募したE法人とA法人のGHは、1にてセットの小多機が選定されたため、GHも選定となります。

(2) GH残り2事業所の選定については、GH単独の採点が高い法人から選定となる。① F法人60点 ② G法人55点 ③ H法人50点のうち、F法人とG法人が選定となります。

(3) C法人については、小多機が採点により選定外となったため、セットのGHも選定外となります。

## （２）審査結果の通知等

審査結果は、令和３年12月中に応募者に文書で通知します。

なお、選定された事業所については、事業者名、事業概要等を市のホームページ等で公表します。

## 7 整備に伴う地元説明の実施

地域密着型サービス事業は、事業所の運営に当たって、地元住民等との連携・協力など、地域との交流を図ることが必要不可欠です。このため、応募の際には、事前に地元（最低でも事業予定地の近隣住民、町内会長、自治会長、その地域を担当する民生委員等）に対して事業計画の概要などの説明を実施してください。

なお、説明後に事業計画を中止する場合は、その旨を地元にも報告してください。

## 8 建設工事、消耗品・備品等の購入について

補助決定後の建設工事、設備備品の購入の際には、以下の点に留意してください。

- ①建設工事の入札は、別に定める「社会福祉施設等（高齢者に係る施設に限る）整備の工事請負契約に係る入札等の手続きについて」に従って、新聞への掲載等の公告による条件付き一般競争入札（法人が設定した条件を満たしていれば誰でも参加できる一般競争入札）により行ってください。
- ②「入札参加資格者は、『横須賀市競争入札参加有資格者名簿』に登載されている業者であること」を入札の参加資格としてください。
- ③入札にあたり、「入札公告の届出」等を提出していただきます。（選定後、依頼します）
- ④補助対象となる消耗品・備品等の購入は、令和５年３月31日までに支払いまで完了する必要がありますのでご注意ください。

## 9 スケジュール（予定）

今後のスケジュール（予定）は以下のとおりです。

令和３年９月30日	応募期限
12月	開設事業者の決定
	— 県への補助金交付申請に向けて準備 —
令和４年４月	県へ補助金交付申請（市→県）
８月頃	県から補助金交付決定（県→市）

	市へ補助金交付申請（事業者→市）
開設 6 月前	入札により建設工事の施工業者を選定し、工事着工 備品等の開設準備経費の購入
工事完了	建築確認検査、市の補助金事業完了検査、 実績報告書提出（事業者→市） 補助金交付（市→事業者）

## 10 地域密着型サービス事業者の指定

介護保険法に基づく地域密着型（介護予防）サービスを実施するためには、市長の指定を受ける必要があります。そのためには、介護保険法その他の関係法令に適合しなければなりません。指定申請の手続きなどについては、本市福祉部指導監査課にお問い合わせください。なお、指定申請を行う際には、下記の審査手数料がかかります。

事業の種類	手数料
小規模多機能型居宅介護事業所 看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）事業所 認知症対応型共同生活介護事業所	30,000円
定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	20,000円
介護予防小規模多機能型居宅介護事業所 介護予防認知症対応型共同生活介護事業所	15,000円

### 【指定についてのお問い合わせ先】

横須賀市福祉部指導監査課 指導監査第1係 電話 046 - 822 - 8162

## 11 不動産物件の情報提供

応募にあたり、事業実施のための民間の不動産物件の提供を希望する場合、本市から以下の2協会へ物件情報の提供を依頼します。

- ・公益社団法人 神奈川県宅地建物取引業協会 横須賀三浦支部
- ・公益社団法人 全日本不動産協会神奈川県本部 横須賀支部

具体的な手続きは、P13の「14 宅建協会・不動産協会との手続きの流れ等」を参照のうえ、「様式15 横須賀市介護保険「地域密着型サービス」不動産情報提供希望物件調書」に必要事項を記載し、介護保険課施設整備係へ郵送か持参により随時提出してください。

横須賀市と2協会での手続きについて費用はかかりませんが、事業者と不動産会社の契約時には、通常の仲介手数料等の費用が発生します。

物件情報を広く募りますが、ご希望の不動産物件情報を提供できない場合もあります。また、不動産会社との交渉・契約等は、各事業者の責任において実施することになります。

## 12 国有地の活用

応募にあたり、事業実施のため国有地を利用できる場合があります。

また、社会福祉法人が小多機、看多機、グループホーム等を定期借地権による貸付契約を締結して整備する場合は、貸付料の減額等ができる場合もあります。

利用については、財務省関東財務局横浜財務事務所横須賀出張所に直接相談してください。

### 【お問い合わせ先】

財務省 関東財務局 横浜財務事務所 横須賀出張所 統括国有財産管理官

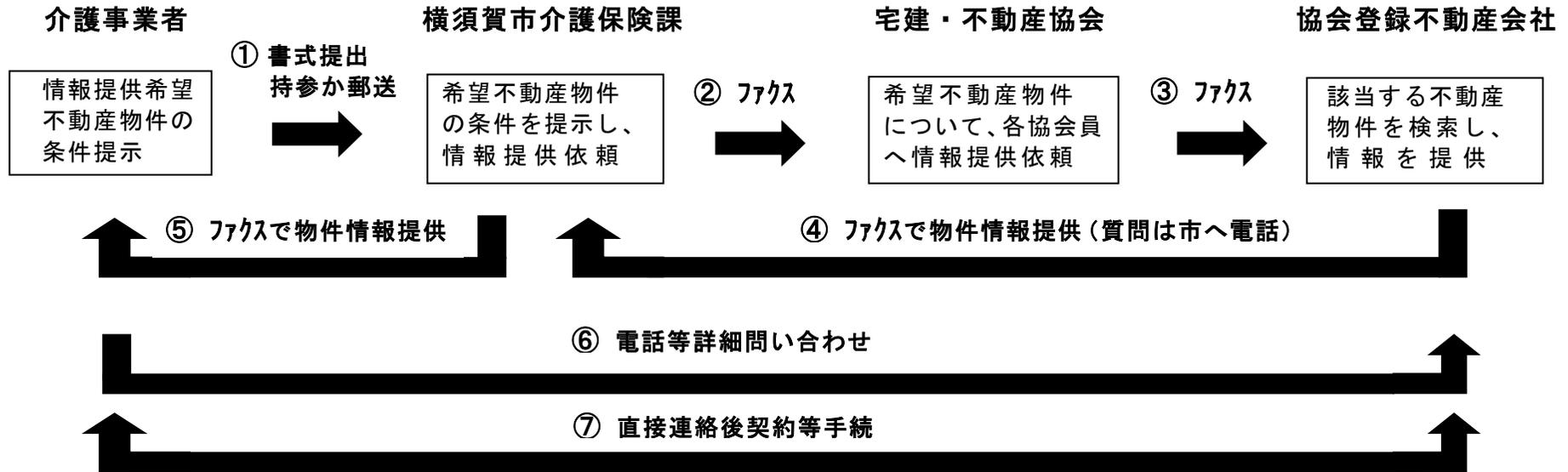
横須賀市新港町1-8 TEL: 046-823-1047

関東財務局 国有財産のURL: <http://kantou.mof.go.jp/content/000269239.pdf>

## 13 その他の留意事項

- (1) 応募を取り下げる場合は、取下書（任意様式）を市長あてに提出してください。
- (2) **応募期限以降の計画の変更（予定地の変更など）には応じません**ので、十分に精査したうえで応募してください。
- (3) 虚偽又は不正等による応募が明らかとなったとき、応募要件を満たさなくなったとき、または事業運営に関し法令違反があったときは、応募を無効とします。
- (4) 補助を受けて整備したものについて、事業の廃止や事業所内の用途変更を行う場合は、制限期間があり、この制限期間内に行う場合は、補助金の返還を求められますので留意してください。
- (5) 応募状況に関するお問い合わせは、サービスごと（圏域の限定のあるものは圏域ごと）の応募者数のみ回答します。

## 14 宅建協会・不動産協会との手続きの流れ等



\* ①から⑦の順番で手続きとなります。

\* ⑥の介護事業者からの連絡まで、不動産会社へ介護事業者名は開示しません。

それまでは、不動産会社からの質問等は横須賀市介護保険課で受けることになります。

⑥の介護事業者からの連絡後は、介護事業者と不動産会社で直接連絡を取り、契約等の手続きを実施します。

\* 横須賀市と宅建・不動産協会での手続きについて費用はかかりませんが、介護事業者と不動産会社の契約時には、通常の仲介手数料等の費用が発生します。

## 15 提出書類一覧

No.	提出書類	備考
1	応募書【様式1】	
2	事業計画書【様式2】	
3	運営法人の事業概要と実績【様式3】	
4	土地所有者の概要【様式4】	土地所有者が応募する場合のみ提出してください。
5	運営法人代表者の経歴書【様式5】	
6	運営法人の事業理念と応募動機【様式6】	
7	事業所の運営方針【様式7】	
8	事業所の運営方針（認知症ケア）【様式8】	認知症対応型共同生活介護事業所の応募者のみ提出してください。
9	利用者確保の方策【様式9】	
10	介護職員・看護職員の処遇の方針等【様式10】	
11	介護職員・看護職員確保見込み（定期巡回で連携する場合は連携の見込み）【様式11】	
12	地域との連携・交流【様式12】	
13	地元説明報告書【様式13】	説明した範囲（場所）がわかるようにマーカー等で表記した地図等、説明に使用した資料一式を添付してください。
14	資金計画書【様式14】	
15	資金収支（見込）計算書【様式15】	
16	施設開設準備経費等補助の対象となる経費の一覧	経費の名称・単価・合計額を記載してください。
17	案内図	場所がわかるように計画地をマーカー等で表記してください。
18	建物の平面図	各室ごとの有効面積（内のり）を表示してください。
19	建物の立面図	
20	建物登記事項証明書	最新のもの。写し可。今後新築する場合は不要。
21	建物に係る契約書又は確約書	売買契約（確約）書、所有権移転登記確約書、賃貸借契約書等／ <u>停止条件付きでもかまいません</u> 。写し可。
22	土地登記事項証明書	最新のもの。写し可。

23	公図	最新のもの。該当地番がわかるようにマーカー等で表記してください。
24	建設予定地に係る契約書又は確約書	売買契約（確約）書、所有権移転登記確約書等／停止条件付きでもかまいません。建物賃貸借の場合は不要。写し可。 国有地の場合は、財務省関東財務局横浜財務事務所横須賀出張所管財課へ提出した「土地利用に関する要望書」の写し（受付印のあるもの）。
25	民間金融機関借入金融資産証明書	<b>【参考例】</b> を参照してください。
26	借入金返済計画書	各年の返済額・元金・利息・残額がわかるもの。
27	建設工事見積書	写し可。
28	建設工事工程表	工事がない場合はスケジュール表。写し可。
29	法人登記事項証明書	最新のもの。写し可。
30	法人の定款又は寄附行為	最新のもの。写し可。
31	法人の決算報告書	直近3期分。写し可。
32	土地所有者の住民票（写）	土地所有者が応募する場合のみ提出してください。
33	土地所有者と運営事業者の賃貸借契約の内容が分かる書類	土地所有者が応募する場合のみ提出してください。
34	横須賀市介護保険「地域密着型サービス」不動産情報提供希望物件調書 <b>【様式16】</b>	ご希望の場合のみ、郵送か持参により随時提出してください。 ファイルに綴じる必要はありません。

横須賀市福祉部介護保険課 施設整備係

電話 046-822-9399

ファクス 046-827-8845

e-mail : [nci-hw@city.yokosuka.kanagawa.jp](mailto:nci-hw@city.yokosuka.kanagawa.jp)